

第1回 立野小学校 授業研究会

講師

福島大学教職大学院人間発達文化研究科 准教授 鳴川 哲也 先生

授業者 5年2組 境 孝
理科「メダカの誕生」



メダカの発生や成長について、観察して得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決することができるように授業をしました。

メダカの卵を観察した記録を見返しながら、メダカは卵の中でだんだんメダカの形になって成長していくと結論付けました。「観察を続けることで正確なことが分かる」「みんなで学習するからこそ分かることがある」という発言があり、自然を読み解くときに大切なことをクラスで共有することができました。

講師の先生からは、「子どもたちが没頭して観察していた。メダカに浸る姿だった。」と価値付けをしていただきました。また、「浸る姿はいつから始まるのか?」「活動中はもちろん、活動前、活動後も浸っている状態になるといいのでは?」「浸る準備が大切、そのために教師は何をする?」という問いかけによって立野小学校の研究の新しい方向性を示唆していただきました。